

医療費抑制政策と医療崩壊

「小さな政府＝社会保障費抑制」路線からの転換。

講師 ^り 李 ^{けいじゅう} 啓充 先生 (元ハーバード大学医学部助教授、文筆業)

みなさんは、マイケル・ムーアのアメリカ映画「シッコ (SICKO)」をご覧になったでしょうか。

アメリカは、民間医療保険の“HMO”です。彼ら民間保険会社は、保険金からの医療費支出を減らすため、受診患者に対して「治療不要」とした医者には報奨金を払ったり、加入者の請求にも何かと理由をつけて保険金を支払いません。その結果、アメリカでは大病を患うと莫大な借金を抱え込む、職を失う、金が払えない患者は置き去りにされるといった悲惨な状況が出現しています。

日本でも他人事ではありません。「後期高齢者医療制度」の行く末は、「シッコ」の世界になってしまうかもしれません。李啓充先生は、日米の医療に携わった経験からこうした日本の状況を憂えた提言をし続けてきました。日本の医療崩壊の根本の原因は長年続けてきた医療費抑制にあり、これを正さなければならないこと、また医療費も含めた社会保障費抑制策、派遣労働解禁などの格差拡大策が、国民の健康そのものを損なう危険について医療関係者以外の方にもわかりやすくお話しくださるとのことです。特に一般市民の方にたくさん聞いてほしいとのことです。

また日本の医療制度の改善、医療の質確保のための整備、医師の技量の評価システムのありかた、そのために米国に学ぶところはどんなところかなどについても触れたいと予定中です。

李先生の講演会を11月に行いますので、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

11月 15日(土) 16:00～18:00

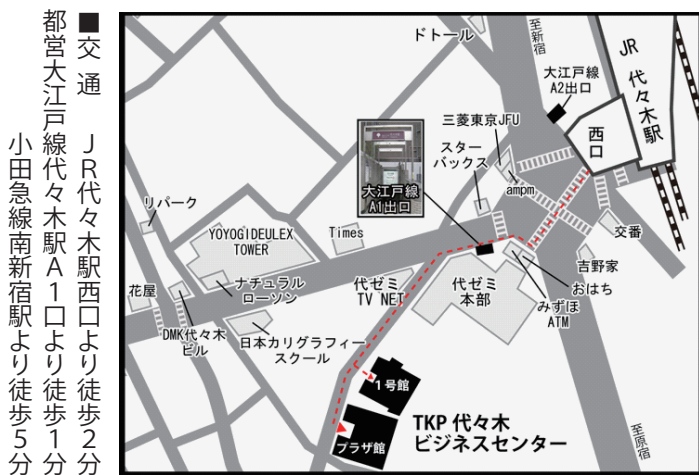
会場 TKP代々木ビジネスセンター プラザ館3Aホール (渋谷区代々木1-28-7 / TEL 03-5304-2071)

参加費 無料 / 定員 250人 ※要予約

主催 東京保険医協会研究部・病院有床診療部 (新宿区西新宿3-2-7パシフィックマークス西新宿4F)

後援 日本の医療を守る市民の会

問合せ 東京保険医協会 担当・栗林、萩原 (TEL 03-5339-3601)



交通 ■ JR代々木駅西口より徒歩2分
都営大江戸線代々木駅A1口より徒歩1分
小田急線南新宿駅より徒歩5分

★ご予約は下記申込書をご記入の上、FAXにてお送りください★

参加申し込み書・協会研究部行き

※お申し込みいただきました方には、後日申し込み受理のお知らせを送付します。

医療機関名
またはご所属

ご氏名

TEL

FAX

参加人数

人

※これ以下は医療機関の方のみご記入ください。

地区名

() 会員 () 会員外 (どちらかに○を)

*** FAX 送信先 03-5339-3449 ***